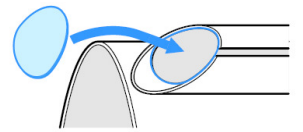


パイルセイバーの施工手順

手順1

先端部の閉塞

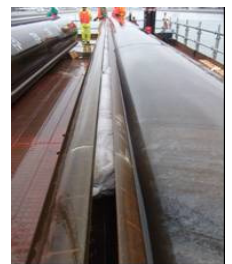
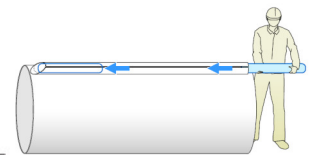
継ぎ手部の開口部に厚さ9mmの鋼板を溶接します。
現場で手当てできない現場に「先端キャップ」として提供します。



手順2

製品の充填

製品を継ぎ手部の上端部から投入します。
充填作業中の破れ防止に、製品を滑らせる「止め吉」を使います。
厚さ3mm巾10cmのゴムシートで補助治具「止め吉」として提供します。



手順3

スリットの処理

製品の包装材（メッシュ）の破れなどによる、打設途中の顆粒の漏出を防ぐために、スリットとの隙間につめる段ボールを補助治具として用意しています。「隙間段ボール」として提供します。



手順4

継杭施工を行う場合

下杭に上杭をつなぐ場合は、構台で待つ上杭に対して上記2,3の手順で製品を充填し、さらに溶接作業中の製品の脱落を防止するために補助治具で製品を固定しておきます。補助治具「止め丸」として提供します。

